

パブリック・コメントにおける意見と意見に対する 考え方

パブリック・コメントにおける意見と意見に対する考え方

■パブリック・コメント実施概要

日 時：令和8年7月10日（金）～8月10日（火）

窓口縦覧者：1名

HP閲覧件数：298件

意見提出：5件（1名）

周知方法：町内各地区回覧及び町ホームページ掲載

▼意見書箱設置状況（町役場内）



▼HPにおけるお知らせ

菊陽町 KIKYO TOWN

Foreign Language 文字サイズ 拡大 縮小 背景色 白 黒 緑

ホーム > 分類から探す > まちづくり（都市） > 都市計画 > 菊陽町立地適正化計画（案）に関する意見公募（パブリック・コメント）実施のお知らせ
ホーム > 和議から探す > 都市整備部 > 都市計画課 > 菊陽町立地適正化計画（案）に関する意見公募（パブリック・コメント）実施のお知らせ

菊陽町立地適正化計画（案）に関する意見公募（パブリック・コメント）実施のお知らせ

最終更新日：2026年7月10日

令和7年3月に策定した「菊陽町都市計画マスタープラン」に基づき、農業・工業・商業、そして住環境と自然環境がバランスの取れた効果的な土地利用の実現に向けた取り組みを基に、この効果的な土地利用の実現には、将来の人口減少を見据えたコンパクトな都市づくりが必要不可欠であり、この取り組みを具体的に位置付けるため、「菊陽町立地適正化計画（案）」を作成しました。
つきましては、市民の皆さんの意見を広く聴くため、次のとおり計画（案）に関するパブリック・コメントを実施します。

立地適正化計画とは

全国的な人口減少と少子高齢化を背景に、一定の人口密度に支えられた生活サービス機能の維持による安心で快適な生活環境の実現と財政面や経済面において持続可能な都市経営の実現を図ることを目的に市町村で策定する計画です。
この立地適正化計画は、おおむね20年後の都市の姿を展望して策定する計画で、立地の適正化に関する基本的な方針に基づき、都市機能誘導区域※1や居住誘導区域※2の誘導区域を定め、この誘導区域に都市機能や居住を誘導するために必要な施策等を記載することになっています。

※1 医療・福祉・商業などの都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に誘導し、これらの各種サービス機能の効率的な提供を図る区域
※2 一定のエリアにおいて人口密度を維持することにより、生活サービスなどが持続的に確保されるよう、居住を誘導していく区域

計画（案）の縦覧・閲覧について

期間：令和8年7月10日（金）から令和8年8月10日（月）まで（土曜日、日曜日及び祝日を除く）
午前8時30分から午後5時15分まで
場所：菊陽町役場都市整備部都市計画課（菊陽町役場 2階2期 菊陽町役場大字久保田2600番地）

パブリック・コメントにおける意見と意見に対する考え方

項目	意見	回答	計画案を修正する もの	既に意見の趣旨を 反映済のもの	今後の参考とする もの	計画案への意見で はないもの
交通	半導体製造企業等の進出により固定資産税収が増加したが、町民生活の改善につながっている実感が乏しい。施設整備や道路整備ばかりが進められているが、増加した財源は、渋滞対策など町民が実感できる施策に活用すべきである。	○これまで町では、税収増を活用した町立小・中学校の給食費無償化や介護用品助成の拡充、物価高騰対策としての商品券事業への町独自上乗せなどを行って参りました。 ○セミコンテクノパーク周辺の道路ネットワークの整備につきましては、渋滞対策に資するものとして、県と連携して、早期完了を目指して短期・集中的に推進して参ります。 ○今後も町民の皆さんのご意見をいただきながら、将来に必要なまちづくり事業や、町民の皆さんに住んで良かったと思っただけの事業に積極的に取り組んで参ります。			○	○

パブリック・コメントにおける意見と意見に対する考え方

項目	意見	回答	計画案を修正する もの	既に意見の趣旨を 反映済のもの	今後の参考とする もの	計画案への意見で はないもの
交通	渋滞対策は最重要課題であるはずだが、駅周辺や市街地に集約する計画になっている。結果的にさらに車が集中し、渋滞を生み出すのではないか。	○本計画における拠点形成や都市機能の誘導は、都市機能を適切に配置し、拠点と居住地を公共ネットワークでつなぐことで、町民の皆さんが利用しやすい都市構造を形成することを目的としています。 ○本計画においては、公共交通の利便性向上や交通結節機能の強化、歩行者・自転車利用環境の改善等を誘導施策として位置付けており、「菊陽町地域公共交通計画」等における施策と一体的に取り組むことで、渋滞緩和につながる都市づくりを進めて参ります。 （本計画「6-3-2交通ネットワークの確保」及び「6-3-3居住の誘導」に記載）		○		

パブリック・コメントにおける意見と意見に対する考え方

項目	意見	回答	計画案を修正するもの	既に意見の趣旨を反映済のもの	今後の参考とするもの	計画案への意見ではないもの
交通	公共交通通勤や自転車通勤への補助、電動自転車購入補助、ヘルメット補助など、車利用を減らすインセンティブが必要である。セミコンパーク等へ車で通勤している人に対し、カーシェアリングや相乗りを促す補助制度を設けるべきである。また、町内を公共交通、自転車、バイクで通勤する人に対して、渋滞解消協力金として通勤費補助を行うべきである。	○貴重なご意見ありがとうございます。関係部署と情報を共有します。			○	○

パブリック・コメントにおける意見と意見に対する考え方

項目	意見	回答	計画案を修正する もの	既に意見の趣旨を 反映済のもの	今後の参考とする もの	計画案への意見で はないもの
交通	知の集積を目指すのであれば、自動運転バスの運行やAIによる業務効率化・省人化など、新しい技術を実装する取組を進めるべきである。 自動運転バスは高齢者の買い物や外出支援にもつながるのではないか。	○現在、町では公共交通の担い手不足や高齢化への対応、関係者の負担軽減などの観点から、AIオンデマンド交通システムの導入に向けた実証実験の準備を進めています。 ○現在計画を進めている原水駅周辺土地区画整理事業区域内において、先進的なまちづくりの取組の一つとして、自動運転バス等の導入検討も併せて行っています。 ○今後は実証実験における成果や課題を踏まえながら、新技術の導入に引き続き取り組んで参ります。		○	○	

パブリック・コメントにおける意見と意見に対する考え方

項目	意見	回答	計画案を修正するもの	既に意見の趣旨を反映済のもの	今後の参考とするもの	計画案への意見ではないもの
施設	町内の半導体製造企業は量産工場であり、サテライトキャンパスや博物館を整備しても、実際の人材育成や産業振興に結びつくのか疑問である。半導体関連施設は整備費・維持費が高く、専門人材や研究知財の蓄積も必要であり、安易な施設整備は無駄になるのではないか。 博物館についても、既存の半導体工場見学や学校でのタブレット学習等で代替できるのではないか。	○貴重なご意見ありがとうございます。関係部署と情報を共有します。			○	○